

武良霜伯先生選評

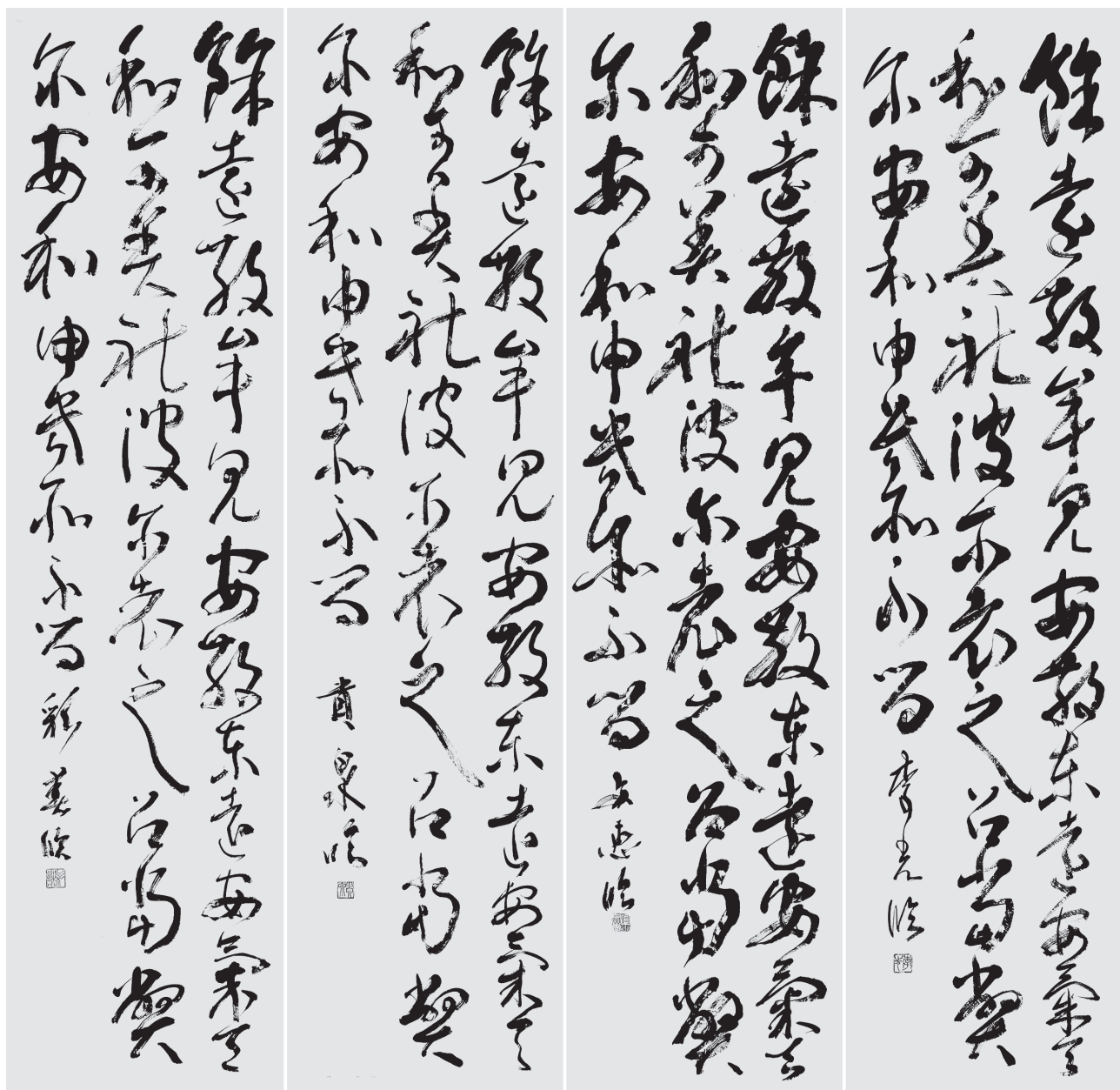


坂本千陽 推選
繊細でコクのある線、紙面を切るように息を吐きながらのリズムで溢れ出す程の書き振りが印象的。文字の大小の変化、軽妙洒脱な運筆。スケールの大きな快作です。

大竹百香 推選
要所要所に配される強い線に、古隸の趣が感じられ、書き手の強靱な意志が伝わってきます。長鋒濃墨を駆使しながら大胆で迫力満点。普段の修練の程が窺えます。

藤井碧峰 推選
明るいうりずむで通貫性があり、筆脈が通っており、爽快で味わい深い。力強い筆致で躊躇なく紙全体に躍動しています。小書きや落款も流麗です。

宮田節子 推選
懐の広い隸書体をベースにゆったりとしたリズム等、見事です。落ち着いて書き急ぐことなく、線の強弱、太細も明確で、平素の研鑽の高さが窺える作品です。



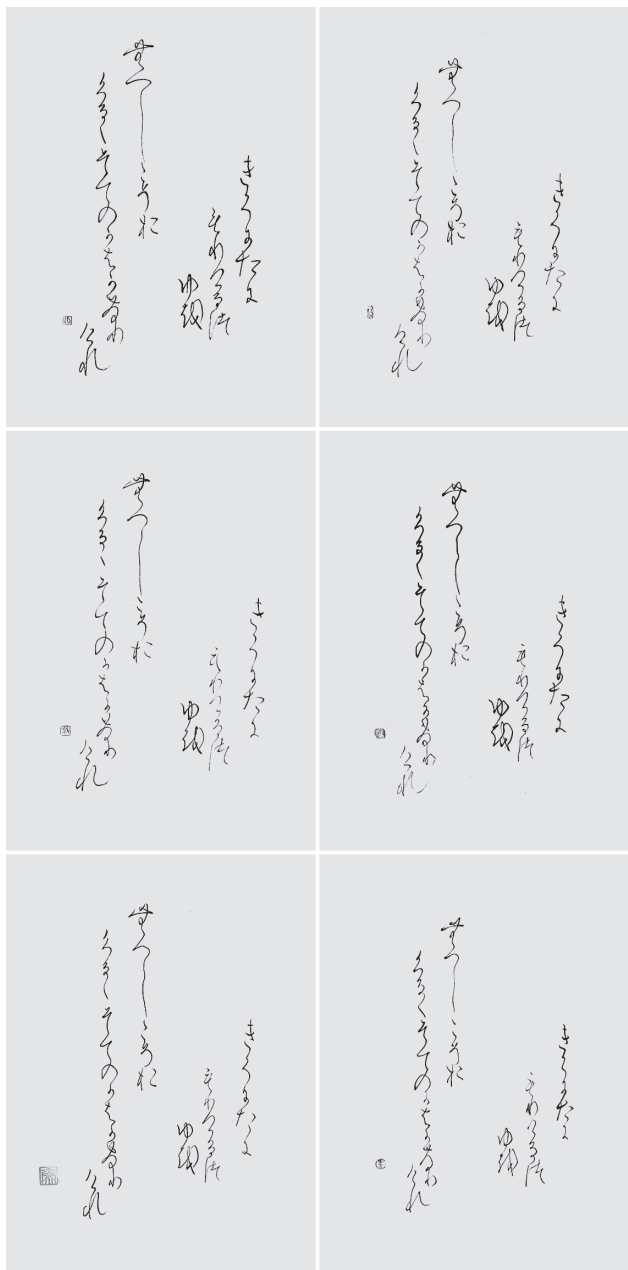
作田 李光 推選
参考作品を良く確認し、落ち着いたゆったりとした線質で書き上げています。二行目の書き出しを渴筆にし、中間で潤筆にして、章法が見事で落款も軽妙です。

宮下 文恵 推選
万葉仮名というよりも、漢字作品のような書風を使い、千金帖的な草書作品構成でまとめ、柔毛筆を巧みに用筆しました。線の温かさ、運筆の大きさが魅力的です。

荒川 貴泉 推選
原帖を意識して、やや控え目に抑え、一行目の線の流れをそのまま二行目に繋げて、渴筆を無理なく用筆して成功しました。余裕を見せた作となりました。

川畑 彩春 推選
比較的硬く長鋒的な筆致で潤渴をつけていく中で、太い線と細い線を巧みに組み合わせで表現しています。渴筆で柔らかな線を出し、手首を上手に使っています。

佐賀道子先生選評



魚地桂鶴 準七
前半はやや線に硬さが見られますが、後半暢びやかなリズムに乗り、直筆の線の勁さが効いて、響きのある作になりました。

小澤ふさ子 準六
呼吸が深く抑揚の効いた連筆は、瀟洒ながらも太細の変化もあり、ゆったりとした流れの美しい作に仕上がりました。

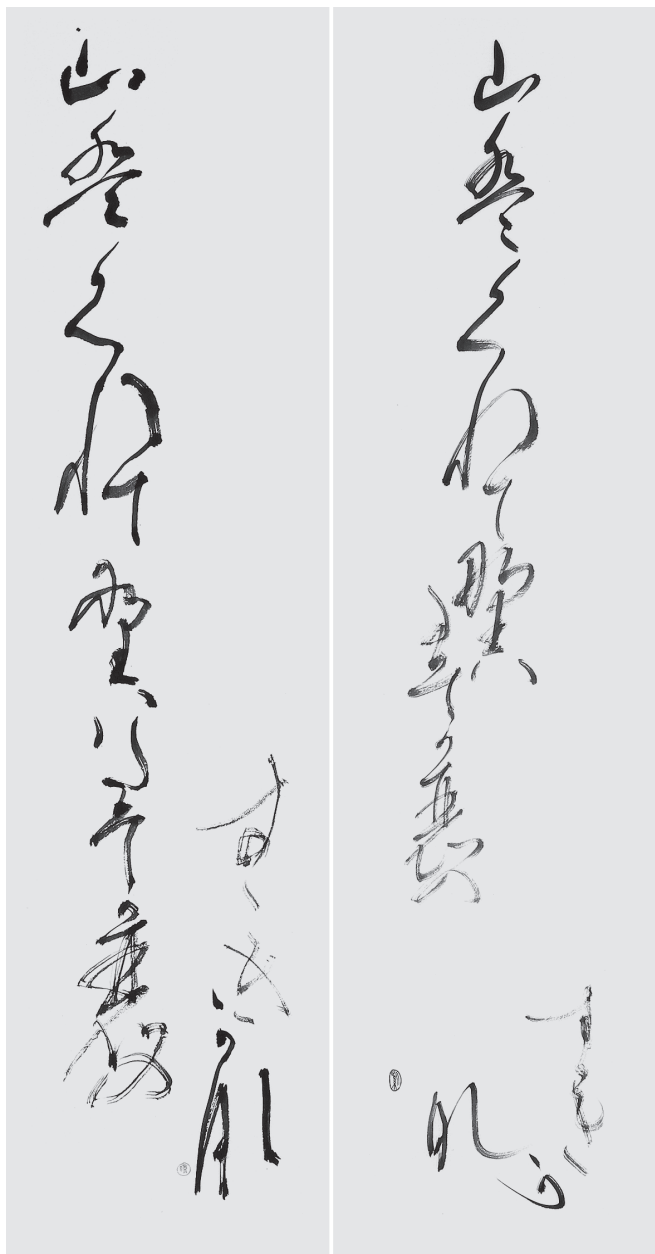
坂田泰文 五段
直筆でピリツと引き締まった線は、清涼感あり爽やかなリズムを奏でています。浮沈、緩急が加わると更に作品効果が出ます。雅印大き過ぎ残念。

北島三枝子 師範
文字造形の捉え方も正確で、筆線の多彩な表情、自由闊達なリズムも心地よく、師範の實力を見せています。余白の美しい作が出来ました。

小林なみ子 準師
潤渾のメリハリよく筆管をしつかり立てた筆線は、生き生きと躍動し魅力的です。最後の七文字の連綿にともどろいが見えて残念。

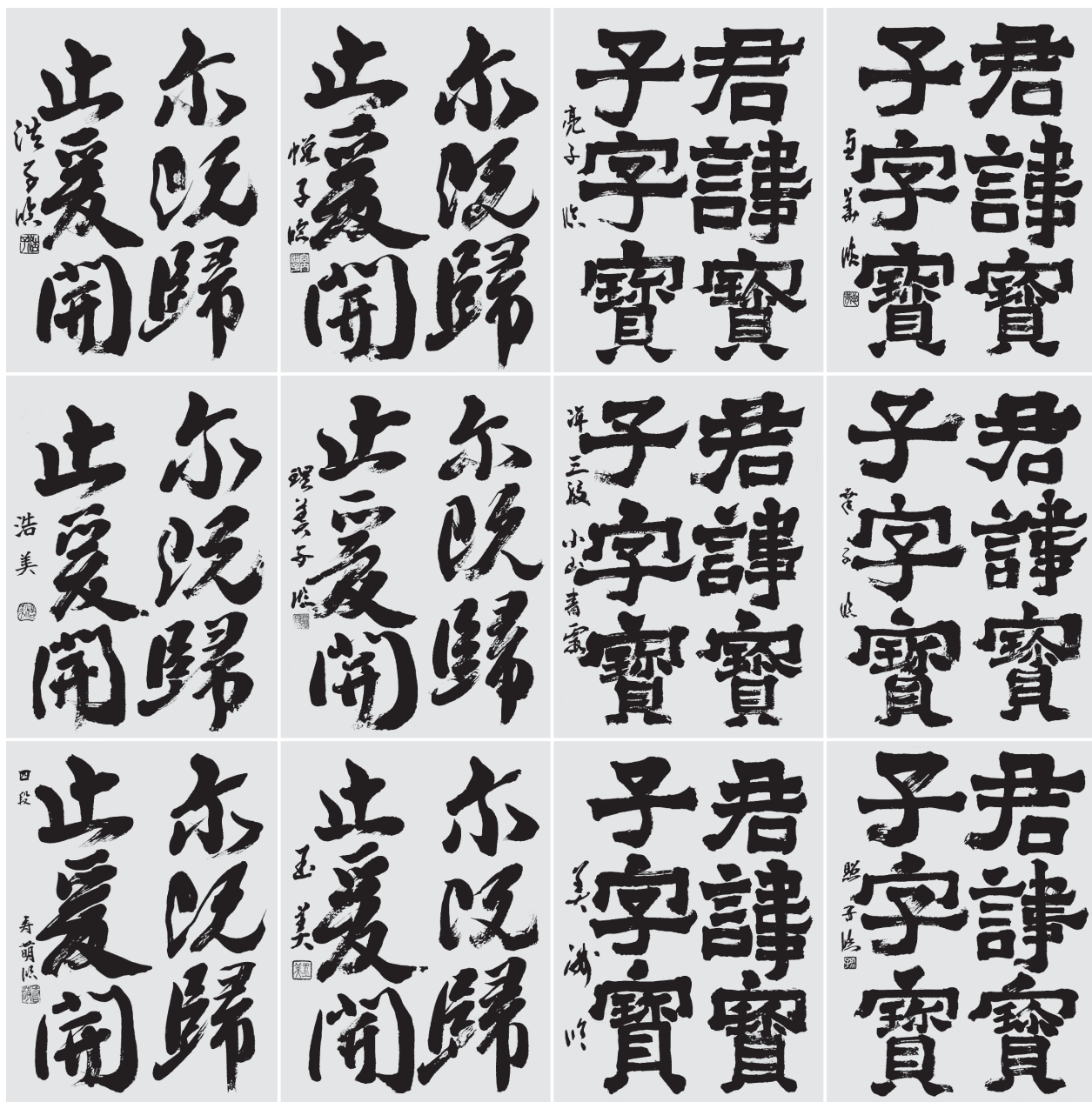
徳田輝子 七段
長い穂先を効かせた転折、抑揚の連筆見事です。繊細で凛とした筆線が美しい。小島切の情趣を醸しています。

白幡陽子先生選評



梶原ひろみ 推選
引き締まった線質冴えて潔く、やわらかい墨色と相俟って清澄な佇まいを呈す。句を自分の感性で表現した構成、潤渾、墨彩の移ろいも自然で、静寂な世界が広がる。

森 瞳 推選
大胆に繰り出した濃墨の迫力ある作。紙面を捉えた迷いのない筆運びが堂々とゆるぎなく、一気呵成に書きさりました。更に破筆の筆遣い表現、お見事流石です。



中嶋恵華 師範

「君」の上部白が少
ないが、起筆、収
筆しっかり書けて
います。特に爰寶
子特有の三角形の
点良く捉えており
大きさも丁度いい
でしょう。

石川亮子 準五

起筆はいいので
が収筆、払い、は
ね部に筆圧かけて
もう少し力強さが
欲しかったです
字の中に白を多く
取り広がりを見せ
ています。点もつ
と三角形に。

宮内悦子 師範

大小、強弱、太細
あり見事な祭娃だ
と思います。手本
にはなかったの
ですが、三四字目
に少し渴筆が欲し
かったですね。力
強さ充分です。

鈴木浩子 七段

前者と比べると少
しおとなしいが二
字目の偏旁の離し
具合など観察力が
窺えます。もつと
浮沈、上下運動が
欲しいです。祭娃
だからですよ。

岡 幸子 準師

貴方も「君」上部白
が少なくて二
目字形少し違う様
子に見えますが横画
の収筆や払い、は
ね気合い充分で気
持ちはいい。点もい
いですね。

小山青霞 準三

下二字少し窮屈に
見えますが、筆圧
充分で爰寶子のこ
の何とも言えない
表情を見事に表現
しており確かな腕
前の持ち主です。
点いいですね。

内堀理美子 師範

書き出し墨量少な
いのと二字目の旁
の一画目しっかり
ね。三字目以降気
持ちが乗って来て
抑揚あり、とても
いいリズムで書け
ています。

垂髪浩美 準五

一字目画数少ない
のに大きすぎたか
二字目、六字目浮
沈あり筆の開閉が
上手くいっています。
「止」で太く多
墨ならどこで渴筆
入れますか？

千葉照子 準六

上二字やや大きい
が窮屈にならず上
手に収めました。
点の起筆は力強く
いいと思うが、も
う少し早く持ち上
げるか一二三三三
画で書く方法もあ
る。二字目怪しい。

山口美洲 二級

今回から六字にな
りましたがちゃん
と入ってますね。
墨量、筆圧充分で
いい線ですよ。
「寶」二つの点、筆
を立ててもつと鋭
く三角形に。墨量
も考えて。

門田玉美 八段

動き大きくやはり
リズムがいいです
ね。決して速筆で
はなく次の線への
筆意こそがリズム
となり抑揚のある
いい（心を引きつ
ける）線を生みま
す。

岸本寿萌 四段

力強さ、伸びやか
さいいですね。作
品が大きく見えま
す。生き生きと気
持ち良く書いてい
ます。それが一番
大切です。細かい
ことはいいの。気
持ち！